

日中友好のしんぶん

大阪と中国

●編集・発行

特定非営利活動法人

大阪府日本中国友好協会

〒543- 大阪市天王寺区大道5-4-6
0052 大阪スカウト会館2F

TEL06(6770)0080 FAX06(6770)0707

●発行日 2014年1月1日 No.231

●定 価 200円

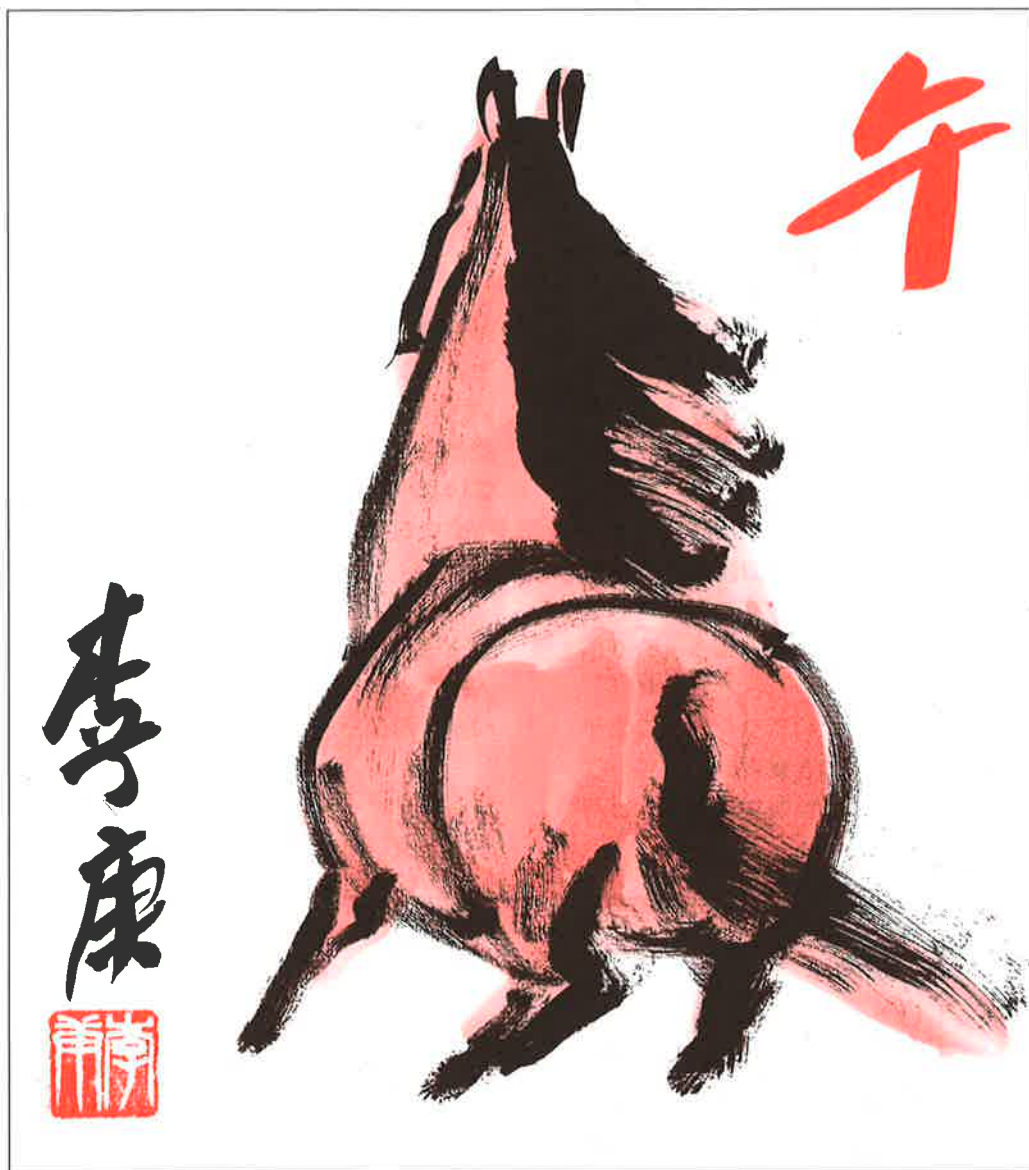
宛先：大阪府日中(jcf@mail.infomart.or.jp)

<http://www.kaigisho.com/jcf>

題字は王个簪氏

午

あけましておめでとうございます



李 庚 書・画

京都造形芸術大学教授

ごあいさつ



日中共に発展のために 絆を深めよう

会 長
谷 井 昭 雄

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族ともども、すがすがしい年を迎えられたことと思います。

さて、今日の日本は、内外に多くの問題が山積しています。しかし一方では、ようやく景気も回復基調にあり、2020年の夏季オリンピックの東京開催も決まり、明るい兆しも見えて参りました。

しかしながら、日中関係が昨年来厳しい状態が続く、経済界や友好団体での交流は進められておりますが、まだ本格的な前進が見られないのが残念です。

国民として、国の主権と発展を考えるのは、当然ですが、そのために日中両国が仲が悪いのではなく、良い関係であることが両国の発展につながるものと考えます。

隣国であるが故に、問題が起きることはやむを得ない事で、長い交流の歴史の中で、その時々先人達が知恵と情熱で問題を克服し、友好な関係を築いて来られました。

21世紀はアジアの時代と言われますが、まさにそ

れが現実のものとして、大きく前進しつつある現在、日本、中国、韓国が共に協力してその先導役となるべき時期にあります。

大阪府日中友好協会は、現在の厳しい環境に屈せず、日中友好が日本の発展とアジアひいては、世界平和につながるものであるという信念をもって、民の交流を通じその絆を深める活動を力強く進めて参りたいと思います。

昨年は中秋明月祭で、地元の中国の方々と一体となって盛大な催しを行いました。又、地区友好協会の皆さんも積極的に参加していただき、大きな成果であったと思います。

また、本年は、日中両友好協会の交流会が大阪で行われる予定になっております。お互いに笑顔で、そして両国の友好と発展のため、共に明るい未来を語り合えるような会合になることを期待します。

会員の皆さん、今年も元気でがんばりましょう。平素ご支援いただいている行政、企業、団体、そして一般市民の皆様方に一層のご理解とご支援をお願いし、年頭の挨拶と致します。

謹 賀 新 年

<p>大阪華僑総会 会 長 曾 昇 龍 理 監 事 一 同</p> <p>〒541-0056 大阪府中央区久太郎町四一―一三 大阪センタービル2F TEL06-4770412511</p> <p>大阪市西区鞆本町三丁目九番十八号 電 話 (〇六) 六四四八―〇五四一</p>	<p>一般社団法人日中経済貿易センター 名 誉 会 長 谷 井 昭 雄 代 表 理 事 会 長 村 山 敦 雄 代 表 理 事 理 事 長 青 木 俊 一 郎</p>	<p>大阪市労働組合連合会 執行委員長 上 谷 高 正</p>	<p>NPO法人 大阪太極拳協会 会 長 大 薮 二 郎 理 事 長 川 崎 雅 雄</p> <p>〒555-0012 大阪府西淀川区御幣島三―四―二四 大阪武術太極拳トレーニングセンター 電 話 (〇六) 六四七八―三〇〇三</p>	<p>大阪卓球協会 会 長 江 崎 勝 久</p>
---	---	-------------------------------------	---	-------------------------------

2014年 新年のごあいさつ

大阪府知事

松井 一郎



新年あけましておめでとうございます。大阪府日本中国友好協会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

貴協会は、1950年の創立以来、60年以上の長きにわたり、日本と中国との相互理解と友好のために、青少年交流など幅広い分野で活動を続けてこられました。これまでのご活動に心より敬意と感謝の意を表します。

さて、昨年は、日中平和友好条約締結35周年を迎え、歴史的にも文化的にも繋がり深い日本と中国が、友好的な関係を維持していくことを再認識する記念すべき年でしたが、日中両国の関係が、難しい局面にあったことは大変残念に思います。

そうした中、大阪・関西におきましては、主催に貴協会が加わり開催された「中秋明月祭」をはじめ、文化や青少年交流など民間レベルでの友好交流が積極的に行われ、これまで多くの先輩方が培ってきた両国の友情の絆をさらに強固なものにすることができ、草の根交流の重要性を改めて認識させられました。貴協会におかれましては、引き続き、民間レベ

ルの友好交流の担い手として、日中友好関係の促進に更にご尽力いただきますよう、心からお願い申し上げます。

大阪府におきましては、30年以上にわたって友好関係にある上海市や江蘇省との自治体交流を中心に中国との交流を深め、親密な関係を発展させていきたいと考えております。

今年には中華人民共和国建国65周年の節目の年にあたります。これまで、民間や地方自治体が中心となってきた交流を着実にを行うとともに、次世代を担う世代間の交流を活発に行うことで、日中の関係が少しでも前向きな方向に進んでいくことを切に願います。

結びに、大阪府日本中国友好協会の今後ますますのご発展と本年が会員の皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。

大阪市長

橋下 徹



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、多年にわたり日中両国の友好交流と相互理解の進展に寄与する各種事業を積極的に推進され、

日本篆刻家協会

理事長 尾崎 蒼石

〒563-0032 大阪府池田市石橋二丁目二一〇

TEL (072) 760-1385



社団法人
大阪府鍼灸師会

〒530-0037 大阪府北区松ヶ枝町六六一

TEL (06) 6351-1480

公明党

大阪府本部
www.komei-osaka.jp



Ustreamで絶賛配信中!

大阪府バドミントン協会

会長 三宅 祐司

〒574-0046 大東市赤井三丁目五 第二池田ビル2A

TEL (072) 806-1858

中国国家観光局(大阪)

〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1
OCATビル4F
TEL 06-66335132
FAX 06-66335133
http://www.cnra-osaka.jp

今日まで大きな成果をあげてられました大阪府日中友好協会の皆様方のご熱意とご尽力に深く敬意を表します。

昨年は、大阪市と大阪府がそれぞれ設置していた上海事務所を、1月に府市の合同事務所として統合し、中国から大阪への投資や観光客等の誘致、大阪企業の中国企業とのビジネス支援などに、大阪府・市が一体となって取り組んでいく環境づくりを進めました。

さらに9月には、貴協会が主催団体として、大阪府も共催団体として参画している「第5回中秋明月祭」が史跡難波宮跡で、日中平和友好条約締結35周年を記念して開催されました。多数の方が来場される中、昨年に引き続き東日本大震災の復興支援をテーマにしたチャリティにも取り組まれるなど、大阪の地から日中友好の輪を着実に広げることができたと考えております。

本年は、中華人民共和国建国65周年にあたりととも、大阪市と上海市の友好都市提携40周年という節目の年でもあります。大阪市では、東アジア地域、とりわけ友好都市である上海市をはじめビジネスパートナー都市である天津、香港など、中国各都市との交流の促進に努めておりますが、今後とも中国各都市との交流を通じて、日中両国間の人・もの・情報の交流がますます活発になり、友好の絆がさらに強固になるよう力を尽くしてまいりますので、皆様方の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、大阪市・上海市友好都市提携40周年を契機とし、相互往来や市民レベルでの交流が一層活発となり、日中両国の友好親善が大きな実を結んでいくよう、また、会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして新年のごあいさつといたします。

中華人民共和国
駐大阪総領事

劉 毅 仁



新年を迎えるにあたり、中国駐大阪総領事館を代表し、谷井昭雄会長をはじめ大阪府日中友好協会の皆様に新春のお慶びを申し上げます。

去る2013年は中日平和友好条約締結35周年でありながら、中日友好運動にとって難しい一年でした。本来このめでたい節目の年に双方が今まで政治、経済、文化、人的交流など各分野で積み重ねてきた実績を踏まえ、両国の戦略的互惠関係をより一層発展させる計画がありました。しかし、周知のとおり、一昨年日本政府の誤った行動により、両国関係は国交正常化以来最も厳しい局面に陥り、いまなお冷えていたところでした。両国関係を推進するために双方の数多くの有識者が注がれた貴重な心血及び両国関係の発展成果が台無しになりかねない当面の情勢を思いますと、強い憂慮と心痛ましい感じを禁じえません。

<p style="text-align: center;">丸山物流株式会社</p> <p style="text-align: center;">MARUYAMA</p> <p style="text-align: center;">代表取締役会長 小田 眞弘 代表取締役社長 中尾 武司</p> <p style="text-align: center;">〒552-0007 大阪市港区弁天6丁目2番8号 Tel 06(6576)6020(代)</p>	<p style="text-align: center;">レンゴー株式会社</p> <p style="text-align: center;">代表取締役社長 大 坪 清</p> <p style="text-align: center;">〒530-0005 大阪市北区中之島2-1-7 中之島セントラルタワー TEL (06)6123-1237 FAX (06)470-6199</p>	<p style="text-align: center;">自動車部品輸出入 ジャパンパーツサービス(株)</p> <p style="text-align: center;">代表取締役 石 田 修 執行役員営業本部長 福 岡 浩 之</p> <p style="text-align: center;">〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目3番9号 JPS本町ビルディング7階 TEL (06)6265-9368 FAX (06)6265-9369 E-MAIL: info@jpsosaka.co.jp</p>	<p style="text-align: center;">烟台汉都金属制造有限公司(山東省)</p> <p style="text-align: center;">株式会社 ダイドーハント</p> <p style="text-align: center;">代表取締役 肌 勢 勝 彦</p> <p style="text-align: center;">大阪市中央区西心斎橋1-15-15 アイバンBLD心斎橋11F TEL (06)6271-3475</p>
<p style="text-align: center;">パナソニック株式会社</p> <p style="text-align: center;">〒571-8501 大阪府門真市大字門真1-006 電話 06-6908-1121</p>			

中日両国が互惠関係を発展させるのは双方に重大な利益をもたらすだけでなく、アジア太平洋地域ひいては世界の安定と繁栄にも寄与することになります。当面の困難を克服するには民間友好団体の力が必要であると思います。大阪府日中友好協会におかれましては、今後も引き続き「民をもって官を促す」という精神に基き、日中友好運動をより一層活発に展開させ、両国関係が一日も早く健康かつ安定な発展軌道に戻るため更なる貢献をなさるよう切望しております。

結びに、大阪府日中友好協会の益々のご発展と会員皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

一般社団法人日中経済貿易センター
代表理事会長

村山 敦



謹んで大阪府日中友好協会会員の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

昨年度は尖閣島問題を克服するために、「民を以て官を促す」という志に燃えて、日中友好協会を中心に「中秋明月祭」をはじめとして様々な活動が積極的に行なわれました。

「政冷経涼」と言われる経済面では、日本の対中貿易は依然として米ドル換算で総額は減少しているものの依然として中国が全体の約20%を占め、対米貿

易の13%を大きく上回って最大の貿易パートナーであります。

又中国で生産販売活動を行なっている2万2千社に及ぶ日系企業の経営実績も総じて好転しており、高性能・高品質な製品とサービス活動を提供して中国顧客に好評を得ています。

日本経済も、久しぶりに上昇気運の中で年を越し、失業率の低下、株価の上昇など良い数字となって現れています。リーマンショック以降長く続いた世界経済の低迷に漸く底入れの気配が有りグローバルにも一息ついた年明けと思われれます。

中国では習近平主席一李克強総理の新体制がスタート一年、昨年11月には中国共産党第18期中央委員会第三回全体会議（三中全会）が開かれ、「改革開放の深化」を目標として胡錦濤一温家宝からさらに一歩成熟した経済政策が展開されようとしています。あれこれの論評より、その成否が世界経済にも日本経済にも大きな影響を与えることを理解しておかなければならないと考えます。

私ども日中経済貿易センターは本年60周年を迎えます。国交正常化18年前より今日を見据えた深慮遠謀の先人の志を思い、初心に帰って日中の経済貿易促進の仕事に取り組んでまいりますので、友好協会の皆様の今後一層のご支援ご協力をお願いします。

本年の干支は午年であります。「馬到成功」と言われる通り、事を始めるに当りスピーディに成功できますようお互いに頑張っていきましょう。

<p>西日本貿易株式会社</p> <p>本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町四丁目四一〇 KDX小林道修町ビル八階 電話 (〇六) 六二〇三二五七三(代)</p>	<p>Culture & Communication</p> <p>株式会社 国際印刷出版研究所</p> <p>〒551-0002 大阪府大正区三軒家東三丁目十一番三四号 TEL 〇六(六八五二)六八五四 FAX 〇六(六八五二)〇二八八</p>	<p>日根野公認会計士事務所</p> <p>公認会計士 税理士 日根野 文三</p> <p>〒540-0024 大阪市中央区南新町二丁目三二七 TEL (〇六) 六九四二一八七八 FAX (〇六) 六九四二一三二七</p>	<p>学校法人天満学園</p> <p>太成学院 大学 太成学院 大学 高等学校 太成学院 大学 中学校 太成学院 天満幼稚園 太成学院 大学 歯科衛生専門学校</p> <p>理事長 足立 裕亮</p> <p>〒587-8555 大阪府堺市美原区平尾一〇六〇番一 電話 (〇七二) 三六三一六三七三 http://www.tgu.ac.jp</p>	<p>株式会社日中語学センター</p> <p>中国語を学ぶ大阪中国語学院 日本語を学ぶ日中語学専門学院を運営しています。 「南森町駅」すぐ</p> <p>学院長 青木俊一郎 代表取締役 大藪 二郎</p> <p>TEL 06-6353-0671 URL http://www.jcic.jp/</p>
--	---	---	--	---

上海市人民対外友好協会
常務副会長

汪 小 澍



2014年の新春迎えるにあたり、わたくしは上海市人民対外友好協会を代表し、《大阪と中国》新年号を通じて、大阪府日中友好協会の友人の皆様及び各界の友好人士の方々に、新年のご挨拶を申し上げます。皆さまあけましておめでとうございます。

貴会は創立以来60余年にわたり、中日両国国民、とりわけ上海と大阪の両地のあいだの民間の友好往来の促進のために、貴重な貢献をされました。またわが協会とは、経済、文化、教育、青年等の諸交流を、豊富多彩に展開され、効果的な交流と共同合作において、すばらしい成果を上げられました。ここで、心からの感謝の気持ちを申し上げます。

長期にわたる友好交流の誼と多年の相互協力による成果は、簡単に手に入れがたいものであり、中日双方の幾世代にわたる共同の願いと絶えざる努力が凝縮しており、それを大切に大事にする必要があります。中日友好交流の基礎は民間にあり、未来は青年にあり、文化交流は架け橋であり、地方の協力関係は柱であります。上海市人民対外友好協会は、大阪府日中友好協会の志を同じくする方々共に、両地間の民間交流と共同事業を、更に一歩拡大し、深化

したものにしたいと思います。

旧年に別れを告げ、新しい年を迎えますが、わたくしは、衷心より友人と皆様のご家族のみなさまの幸福とご健勝をご祈念申し上げます。衷心より、大阪と上海の素晴らしい未来を期待いたします。

大阪華僑総会
会長

曾 昇 龍



2014年、新年明けましておめでとうございます。大阪府日本中国友好協会の皆様には谷井会長のもと、新春をすがすがしくお迎えのこととお喜び申し上げます。

2013年は中日平和友好条約締結35周年の年でした。この条約は前文で、「両国間の平和友好関係を強固にし、発展させるため、平和友好条約を締結することに決定」したことが記されています。それから中日両国はこれまでに、さまざまな交流や往来を通じて友好関係を深めてきました。今でも多数の人たちが両国の平和と友好を願っています。残念なことに最近の中日情勢により極端な意見や言動が見受けられますが、このような時期だからこそ、中国と日本の国交正常化からの道のりを回顧し、将来についての展望を見つめていく必要があると思います。

こうした情勢の中で、昨年9月に私たちは大阪府日



出会いと感動の旅々おかげさまで50年

日中平和観光(株) 大阪支店

担当 川元 貴之

〒541-0046 大阪府中央区平野町三丁目四番一四号
大阪TKビル
TEL 〇六一六二〇二一〇二四一

株式会社 徐 園

代表取締役社長 徐 東 生
代表取締役副社長 徐 秀 生

大阪市西区江戸堀一丁目一五番三〇号
電話 (〇六) 六四四八一五二六三(代)

中国料理

錦 城 閣

〒540-0032 大阪府中央区天満橋京町一丁目
大阪キャッスルホテル3F

TEL (〇六) 六九四一二二八五

ホテルニューオータニ大阪

総支配人 崎 山 喜代志

大阪市中央区城見一丁目一

株式会社 ロイヤルホテル

代表取締役社長 川 崎 亨

〒530-0005 大阪府北区中之島五丁目三十一番八
電話 (〇六) 六四四八一一二二一

中友好協会の皆様と5回目となる「中秋明月祭大阪2013」を開催し、成功裏に終わることができました。

「中秋明月祭大阪」の1回目は中秋の季節に日本で生活している中国人が集まって親睦を深め、祖国を想うところから出発しましたが、貴協会のご参加、そして主催団体への加入により、大阪における中日間の友好交流、相互理解を深めるための大イベントに発展することができました。

また大阪華僑総会では、その会場で東日本大震災復興支援のために「東北6県特産品大即売会」を開き、売上金全部を被災3県にお届けし、在日中国人が東北の被災者を支援し続けていくことへの強いメッセージを送らせていただきました。

大阪華僑総会は今年も大阪府日本中国友好協会の方々をはじめとする日本の友人の皆様と協力し合い、祖国中国と日本の友好増進のためにより一層の努力をしていく決意でいますので、今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

新年にあたり、貴協会のみまますのご活躍、両国の友好の更なる発展を祈念いたしますとともに、会員の皆様方にとって素晴らしい1年となりますよう祈念いたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

NPO法人大阪府日中友好協会
副会長・理事長

小田 眞弘



新年明けましておめでとうございます。

皆様にはお揃いで良き新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

一昨年の領土問題は予想を上回る深刻な事態となっております。そうした困難な状況の中で、当協会は昨年一年間において計画通り事業活動を行えたことは、会員はもとより関係各機関のご協力のお蔭であります。また昨年の第13回通常総会で理事長に就任いたしました。この重要な時期に理事長としての大役を果たし得るか心配致しましたが、何とか無事に新しい年を迎える事ができました。改めまして年頭にあたりお礼を申し上げます。

昨年10月22日には、中日友好協会に招かれて北京

の釣魚台迎賓館において、中日友好協会創立50周年と日中平和条約締結35周年のお祝いに参加致しました。その場の状況では元の関係に戻るには今少し時間がかかると感じました。

本年は日中友好協会本部も大阪府日中友好協会も設立から64年目を迎えます。両国間も国交正常化して42年目、平和条約を締結して36年目に当たります。身近には大阪市と上海市の友好都市も40年の節目を迎えます。

こうした長い歴史を振り返るとき、両国の先達の努力とご苦労がしのばれ、その積み重ねがあってこそその日中関係と考えます。日中両国がこの実績を重く認識し我々の時代で過去に水を差すことの無い様、十分に責任を感じて、前向きな努力をする必要があると考えます。

本年には、第14回の日中友好協会と中日友好協会の交流会が予定されております。大阪府日中友好協会が近隣協会と力を合わせ、ホストを務める準備を行っております。中国各地からのご参加、特に日本各地と友好都市である皆様の来日をお待ちしております。また日本で頑張っておられる中国の方々、留学生の参加もお待ちしております。会員のご協力を得てオール大阪であたたかく「你好」と言える様準備を進めております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

佐藤洋一

(公社)日中友好協会 理事
(一財)日本国際協力センター アドバイザー

中国ならANA
関西国際空港から
6都市へネットワーク
●就航都市
北京・上海・大連・青島
杭州・香港

ANA

ご予約お問い合わせは

0570-029-333
(全国一律料金)

草の根 しっかり 固めよう

新しい第一歩を踏み出そう

池田市日本中国友好協会
会長 倉田 薫



皆さん、新年あけましておめでとうございます。
一昨年の尖閣諸島の国有化以来続いている日中関係のギクシャク、関係者の心配をよそに、とうとう2度目のお正月を迎えました。そして池田市では、皆さんすでにご承知の通り、日中友好の大きな架け橋となって頑張っておられた池田市日中友好協会の名誉会長藤尾昭さんを喪うという悲しい現実直面いたしました。

私は昨年末にその藤尾さんのご家族と一緒に蘇州市を訪問し、寒山寺のお庭に藤尾さんの功績をたたえる碑を設置するとともに記念植樹をさせていただいてまいりました。

碑には「寒山寺除夜の聴鐘迎春行事の日本発起者、蘇州市名誉市民、日本池田市日中友好協会名誉会長藤尾昭先生を記念し、記念植樹を行う。」と刻まれてありました。

日中の国交正常化以来日中友好、とりわけ池田市と蘇州市の友好交流に格別のご尽力をいただいた藤尾さんのことは蘇州市政府としても特別な存在として認めていただいていた、ということが改めて証明された感じです。

藤尾さんという偉大な先人を失った今、私たちはその先人の遺志を受け継いで、改めて日中友好のために自分たちのできる範囲で頑張ろうと誓い合って帰ってまいりました。

今年は5月に大阪で「日中友好交流会議」が開催される予定になっています。谷井会長、小田理事長を中心とした大阪日中の底力をお見せする良い機会ではないでしょうか。国対国は政府にお任せしておいて民間交流の新しい一歩を、この大阪から踏み出すという記念の年となりますように、各地区協会が心あわせしながら頑張らしましょう。

今年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを祈念して、新年のご挨拶といたします。みなさん

本年もよろしく申し上げます。

心と心の交流を大切に

八尾市日本中国友好協会
会長 田中 順治



平成26年の新春を迎え、皆様方には本年が素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

今、日中両国の政府間は、昨年来から領土の問題、防空識別圏等の問題でギクシャクしております。これらを打開するために、両国間に係わる多くの人々が事あるごとに話し合いの場を持たれている所ではありますが、我々の民間交流も上手く活用してその解決策を見だし、一日も早く雪どけし、ノーサイドに導いてほしいと願うものであります。

私の国際交流の理念は、歴史や風土、宗教等お互いの生活習慣やものの考え方、国情を充分理解して、決して押し付けや華美でなく、心と心で付き合うもので、見せかけでは通じないものだと思っています。

お蔭様で、この信念が通じたのか、上海市対外友好協会をはじめ、友好都市上海市嘉定区に多くの友人ができました。

このような時期でも八尾市では、友好交流締結以来実施している青少年交流をはじめとする多くの事業が行われ、その一環として両市の職員交流事業が、昨年3月4日より3月13日の日程で上海市嘉定区の職員を受け入れ、10月28日より11月8日の日程で八尾市の職員を派遣しておこなわれました。

この事については高く評価するものであり、現在も事あるごとに両市が連携を密にし、問題解決に努力されると共に、当協会へも常に気配りいただいている事に、心から敬意を表し、感謝するところでございます。

当協会といたしましては、今後も様々な分野において積極的に交流活動を推し進める所存でございますので、各関係諸団体各位におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

異文化理解が 国際友好交流の第一歩

堺日本中国友好協会
会長 曾我部篤爾



新年快樂！

昨年は堺日中友好協会創立30周年の節目に当たり、10月に記念祝賀会を開催しましたが、中国の友好都市・連雲港市から訪日団を迎えることができませんでした。ただ、連雲港市長からの祝辞が届けられ、式典で披露することができました。日中関係は政治的緊張が続いていますが、我われは民間団体として政治問題とは一線を画したいと考えていますが、なかなか割り切るの難しいようです。

それでも30周年祝賀会には多数の会員、来賓をお迎えし、意を強くしたところです。

当協会では「異文化を理解することが国際友好交流の第一歩である」との考えのもとに、中国文化講座や国際ふれあいの集いを開催しています。

30周年祝賀会に際して行った会員アンケートでは、訪中を希望される意見が多く寄せられました。嬉しい限りです。

このような会員を地道に一人でも増やしていくことで、やがて日中友好の春が訪れると確信しています。

魯迅と西村真琴展 2月に開催

豊中市日本中国友好協会
会長 田中 潤治



王館長と

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

2012年12月に開催を決めておりました、魯迅と西村真琴そして日本友人達展開催延期の申し出を魯迅記念館から受け、一昨年9月に大阪府日中友好協会谷井会長が魯迅記念館を訪問、厳しい環境にあるからと消極的に時を待つより、今こそ私たちができる最善を尽くし着実に実行すべきとのご指示を豊中日中友好便りの5月号に寄稿して頂きました。

その翌年6月大阪日中の小田理事長と藤井事務局

長のお二人が魯迅記念館を訪問、展示会の具体化について協議を行い1月中旬に開催してはどうかとの中国側の提案を受けたとの出張報告を発表されました。これに続けと昨年9月23日から3日間上海魯迅記念館で開催されました“魯迅と中国社会文化発展学術研究会”に豊中日中から会員8名参加し、魯迅が中国社会に与えた影響の大きさと魯迅の偉大な功績について理解を深め、今こそ魯迅と日本人が築いた友情関係を歴史と共に学び日本人が理解を深めるべき時と考え、研究会の合間に魯迅記念館王館長と大阪での魯迅と西村真琴展開催について慎重に議論を重ね、協議書に調印、実現の運びとなりました。一重に谷井会長、小田理事長そして藤井事務局長の先駆けのお蔭だと深く感謝いたします。

このイベントが日中文化交流の先駆けとなり、日本各地で文化交流が行えることになればと期待しております。日中友好協会関係各位の絶大なご支援と参加をお願いします。

展示会主題 “度尽劫波兄弟在” 魯迅と西村真琴

(劫波を渡り尽くせば兄弟あり相逢て一笑
恩讐は滅ぶ一と結ぶ七言律詩)

日時：2014年2月23日～25日 9時から19時まで開館

2月23日 11時～12時 開幕式テープカット

14時～17時 基調講演

王錫榮 上海魯迅記念館館長

主催：上海魯迅記念館、大阪府日中友好協会
豊中市日中友好協会

後援：中華人民共和国駐大阪領事館
大阪府、豊中市、毎日新聞社

市民レベルで 友好交流の拡大を

高槻市日本中国友好協会
会長 奥本 務



明けましておめでとうございます。皆様方には、お元気で新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

皆様ご承知の通り、すべての関係者の方が憂慮されているように、今、日中関係は最悪の状態と言っ

てよかろうかと思えます。何よりも友好の絆を深める交流の道が大きく断たれていることは、友好協会の活動にとって痛手となっています。新年に当たって、まず友好交流の拡大をいかに図っていくかを、会員だけではなく広く市民レベルで考えられるように、共に努力していきたいと思えます。

中国青年が小学生の命を救った！というニュースを覚えておられるでしょう。昨年9月16日、誤って淀川に転落した子供を、ジョギング中の巖俊さん(26歳)が淀川に飛び込み、命懸けで救助した出来事が大きく報道されました。この助けられた子供は、高槻市内の小学4年生の男児でした。当協会はもちろん、府日中や全国日中の皆さん、高槻市民、大阪府民から内閣総理大臣までに至る多くの人々を感動させた朗報でした。

一人ひとりの中国人と日本人が顔を合わせて、手を握って交流し合う、このことの大切さを教えられたように思います。

来年5月には、第14回日中友好交流会議が大阪の地で開かれ、今後の友好交流の発展に大きな力となることが期待されます。当協会としても民間交流の諸活動の充実を図るとともに、府日中をはじめ関係諸団体各位との連携、相互協力を得て友好活動に取り組んでいきたいと考えています。

吹田市日中設立15周年に相応しい活動の年を目指します

吹田市日本中国友好協会
会長 高津 昇



新年あけましておめでとうございます。

今年は午歳、奔馬凌空の勢いで昨年の暗く冷たい日中政府間の関係を吹き飛ばしたいと思っています。それには旧年に倍して民間の交流を活性化させなければいけないと思います。幸い吹田市日中では日中民間友好交流として、日本に在住、在職する若く元気な華僑、華人の皆さんと家常菜餃子の講習会、観桜会などの催しを通じて交流を重ねてきました。今年は更に輪を広げ、西日本在職中国人交流協会の皆さんとともに色々の行事、催しに参加し、交流促進を実践します。

もちろん、中国人留学生の皆さんとの交流は当協

会活動の柱になっています。昨年の西日本留学生との交流会は、これまで最高の140名参加となりました。今年は昨年を参考にしながら十分な準備と計画を立て、多くの協会の協力・分担を求めて一層の友好活動を目指します。錦秋の頃には蘭州西北師範大学を再訪し、蘭州吹田友人之家の人たちと旧交を温めます。また上海市浦東新区との友好交流提携の実現に向け全力を傾注します。

今年で当協会は設立15周年を迎えます。節目の年にふさわしい活動を目指します。

市民レベルでの交流を中心に

藤井寺市日本中国友好協会
会長 井関 功



あけましておめでとうございます。

皆様には気持ちも新たに素晴らしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は日本と中国両国には尖閣問題、防空識別圏などの、日中間には色々と問題もありますが、民間の力で輪を広げていければと思います。

今後も、関係団体皆様の方のご指導を受けながら、市民レベルでの交流を中心に、より一層充実した事業活動を目指して参ります。

最後になりましたが、貴会の益々のご発展と皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

劉夫妻の家庭料理

河内長野市日本中国友好協会
会長 大原 一郎



劉さん夫妻は市域の公営住宅に住む地元中国朋友の仲間家族ぐるみの交流が始まって20年になる。

奥さんは中国残留日本人で常宮圭子さんという。黒竜江省で生まれて間もなく、戦況が悪化し、親が道端に置き去りにして逃げたらしい。その名字は親が書き残したメモにそう書いてあったらしい。

但し、正確な歳も誕生日も今更わからない。

近所の農家に拾われ物心ついた頃から毎日苛酷な労働が待っていたという。

だから、読み書きができない。つまり筆談が出来ない。しかも念願かなって日本に戻っても身内の方は結局、一人も現れなかった。不幸中の幸いといえるのは劉さんという伴侶と一緒に日本に戻れたことくらいだろう。

近所の人とも意思の疎通が難しい故にちょっとした誤解によるトラブルも多かったようだ。私が劉さん夫妻と初めてお逢いしたのはその頃だ。近所のご婦人との間のいざごに呼ばれて劉さん夫妻と話をした。問題はすぐに解決したが、話は尽きない。堰を切ったように溜まりに溜まった不安・怒りを聞いた。

その夜、劉さん夫妻宅で家庭料理をご馳走になった。小さなガスコンロ一つで手際良く3、4品の炒め料理が並ぶ。口にすると北京駐在の頃よく食べた懐かしの本場の味がした。劉さんは得意げに透明な酒をコップに注ぎ私に空けろと迫る。見るからに度

数の強い蒸留酒だ。これも懐かしい。一気に空けると倒れるまで飲まされた。

それから20年、いろんなことがあったが、今でも事あるたびに家族ぐるみで劉さん夫妻が作る家庭料理をご馳走になっている。

先日、訪問した際、あれ程酒が好きだった劉さんが酒を止めたという。数日後、その理由が圭子さんからの電話でわかった。劉さんは末期の直腸癌だと診察され病院で手術を受けるらしい。

面会に行くと神妙な顔で後はよろしくという。

幸い、手術は成功。但し、人工肛門になった。家族で見舞いに行くと、何時もの笑顔で出迎えてくれたが、私の91歳の母親の姿を見つけて急に静かになった。母親に駆け寄り手を握り初めて涙をこらえる劉さんを見た。多分、自分の母親と私の母親を重ねて見ていたのだろう。近いうちにまた、家族ぐるみで劉さん夫妻が作る中国料理をご馳走になりたい。

あの味は忘れようにも忘れられない。

2014年の活動予定

熊取町日本中国友好協会
会長 武内 孝之



明けましておめでとうございます。

今年は当協会設立19周年に当たりますので、そろそろ20周年記念事業について考え始める年になります。

今年の予定としましては、

- 1月19日(日) 春節餃子パーティ(公民館)、
- 2月8日(土) 講演会：道になった男—孔子、
- 3月8日(土) 講演会：東洋医学とは、
中国医学・西洋医学合作
- 4月6日(日) 遣唐使縁の地を訪ねる花見旅行：
難波旧跡→難波津→住吉大社、
- 5月10日(土) 広瀬省三氏を偲ぶ会、
- 6月14日(土) 講演会：欧州の原点としての古代
ローマと中国、
- 7月13日(日) 第19回総会(レンガ館)
となっております。

(なお、講演会はいずれも図書館2階会議室1の予定)

春節餃子パーティと講演会は、参加大歓迎ですので、ご興味のございます方はご連絡いただければ、詳しい資料を送らせていただきます。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

「星星之火、可以燎原」

阪南市日本中国友好協会
会長 明石 啓



新年おめでとうございます。

とはいえ、尖閣諸島問題に端を発した両国政府間の冷却した関係は依然として明るい兆しが見えず、また各種世論調査に見られるように中国に対する市民感情は厳しいままに推移しています。日中友好を願う私たちにとってまことに残念な状況です。

そんな中で私たちのような小さな町の小さな民間団体に出来ること、やらねばならないことは、たとえ少しずつでも周囲に中国に対する理解の輪を広げ

ること、周囲の中国人の力になることではないでしょうか。そんな考えのもとに昨年は恒例の春節お祝い会、中秋節お月見の会にこれまで以上の中国人を招いて交流を深めることに力を注ぎました。幸い会員及び市内の中国人、会員外の有志の方々のご協力を得て盛大な催しとなりました。もちろん今年もより充実したものになるよう努めます。

そのほか展覧会鑑賞、近郊ハイキングなどの日常的な活動も続けています。ハイキングでは泉州地区の他協会にも共同開催を呼びかけ、11月には小規模ながら第1回目を実施しました。これまで15回行っ

てきた中国旅行ですが、昨年は台湾に行き「もう一つの中国文化」に触れてきました。

20年以上にわたって交流を続けてきた蘇州市呉中区とも、状況を見ながら交流を模索するつもりです。

毎月発行し今年1月で226号を数える当協会の機関紙名は「星星」です。中国の成語「星星之火、可以燎原」（ごく小さな火でも広野を焼き尽くすことができる。小さな力であっても無限の可能性がある、の意）から名付けました。これからも星星之火であり続けたいと思っています。

“確かな民間交流を求めて”



松原市日本中国友好協会
会長 牛浜 龍男

新年明けましておめでとうございます

皆様方にはこの良き新年をお迎えのこととお慶びのご挨拶とご案内を申し上げます。

一昨年より特に揺れ出した領土領域問題で厳しい打開策に政治家も民間人も他人事ではありません。主権に関わるだけに民間人としてもとても興味深い問題である事に違いはありません。

私自身ライフサイクルとしての日中友好の路線活動をどのような方向性で導かなければならないのかと問う、その為にも我々民間交流がなすべき事は両政府を動かす材料を創らなければならない事ではないか。日中民間交流での相互理解と信頼関係を構築していく行程でその判断材料をより多く創り具体的な判断材料を示す事が大事ではないかと考えます。

最近、新聞を読んでいても辛い記事がより多く目に止まります。日中間にとって、国と国との絆は、領土拡張なののでしょうか？ いいえ日本国民には誰も侵攻心はないと信じています。

東日本大震災の被災者の方達にも同じように今も辛い歳月は流れていきます、復興に努力しているにも関わらず国防費の浪費には残念です。

暖かい平和的な人との絆を望んで行く事を前提に絵に描いた餅に過ぎない見せかけ交流ではなく、民間人としての相互交流で微力でも一歩々努力する見える友好交流活動を邁進して両国民の相互理解と信

頼を考えると何でも言い合える理解を掴みたい、それにはやはり協会活動運営をガラス張り交流にして目的を持った会員参画がより必要ではないでしょうか。

そうした中に今年は少しでも、日中間の交流開花の時期が遅れても交流の華に開花の兆しが見えてくるような期待感を持って頑張って参りたい所存です。

そして、お互いに理解しながら隣国であるアジア圏を含む良き隣人として豊かな生活と平和を民間外交として両国民が良き先駆者となる理解者にならないと願っています。

又、ご案内と致しまして松原市日中友好協会では2014年新春から色々な活動を計画立案して民間交流団体としての材料固めをして邁進致しますので、皆様からのご支援ご協力を重ねてお願い申し上げます。

最後に皆様方にとって今後のご活躍とご多幸とともに今年がより実り多き一年になりますように心からお祈り申し上げます。 感謝

総領事館との ミカン狩り交流を継続

岸和田市日本中国友好協会
会長 中村 良明



昨年は世界各国で暗いニュースが大変多かったように思いました。今年は明るい年であってほしいものです。特に日中関係が改善されることを願います。なぜなら会員増強が大変厳しいからです。会員も高齢化し活動も大変です。若い人を増強し活気のある会を望んでいるのですが、今の日中関係では思い通

りにいかないのが現状です。一日も早く改善されることを願っています。

昨年は例年のごとく5月3日岸和田市市民フェスティバルに参加。9月琵琶コンサート。11月ミカン狩り。12月中国料理と忘年会を行いました。

特に良かったのがミカン狩りです。領事館から王軍副総領事を含む33名の方々と我々会員11名で友好交流をしました。ミカン狩りの後、シャブシャブで交流ができました。家族の方々にも大変喜んでいただき、来年も楽しみにしていますとのことでした。後日お会いした総領事からは来年は私もぜひとも参加させていただきますのでよろしく申し上げますと約束されました。

苦しい中にも明るさを見つけ さらなる前進を

枚方市日本中国友好協会
会長 山中 卓



新年明けましておめでとうございます。今年は午の歳、「天馬空を往く」とか「大手を振って堂々と、しかも自由奔放に」とか……。日中両国のますますの隆盛を祈念します。

昔、我われの子供の頃、学校の木製二人机の真中に境界線を引き、隣席の悪友とはみ出した肘をつつき合った他愛ない思い出が甦ってきました。何となく今の日中関係の様相を見るかのようです。

「情報収集し分析し対峙していきます」だけでなく、両国首脳が早急に話し合い、東洋における密接な接近を実現してほしいものです。

また、ちまたの対中感情は決して良くはなく、どちらかと言えばだんだんぎくしゃくが強まる傾向です。ともすれば日中友好に携わっている者としても「もうやれんわ!」「もうちょっと様子を見て」という考えに走ってしまう昨今です。そんな時、大阪府日中谷井会長や戸毛副会長のお話を聞き、日中関係は下町外交（民間交流）からと思い直し、「やらなあかん」と心を動かされた昨今でもあります。

そんな気持ちで新年を迎えた中、「今年はこれだけはぜひやりたい」という強い衝動に駆られたことがあります。

① 第3回中秋名月交流会です。中国からの留学生、

市内の中国人、そして一般市民、枚方市日中会員との交流会です。楽しいひと時を大々的に開催し、日中相互の文化・スポーツ・芸能・教育・経済など幅広い友好親善交流でその成果を収めたい。

② 研修会を年3回は催す。その内容は斬新的でしかも意義あるものとし、平和友好を促進する若いそして熟慮ある人材の掘り起こしを期すること。

今年も当協会へのご指導、ご鞭撻をお願いし、大阪府日中のますますのご発展をお祈りいたします。

今年はいいい年でありますように。

新年のご挨拶

大阪三島日本中国友好協会
会長 大友 康亘



大阪府日中友好協会の役員、会員、関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中は大阪三島日中友好協会に、ご支援、ご協力賜り厚くお礼申し上げます。お陰様で、当協会設立後3年を経過し、毎年開催します「中国家庭料理・手作り餃子を作り食する会」や「中国茶を楽しむ会」、中秋明月祭への出演などに加え、昨年は日中両政府間の厳しい政治関係の中、日中友好青少年書画展を、江蘇省人民対外友好協会のご協力により摂津市にて盛大に開催し、摂津市長、市議会議長、教育委員長、在大阪中国総領事館、国際交流協会など多くの方々の参加を戴き、民間交流を通じて日中友好の機運を大きくすることが出来ました。改めて深く感謝します。

私事ではございますが、昨年7月に入院し6か月以上懸命にリハビリを行い、お陰様で元気を回復いたすことが出来ました。復帰まであと一歩でございます。新年は自宅で迎えることが出来ました。この間皆様からお見舞いや暖かい励ましのお言葉を賜り厚くお礼申し上げます。

この一年間皆様が健康でお過ごしされるとともに、当協会も役員、会員の日々の努力を通じて、日中友好交流を一段と進めるため頑張ります。本年も宜しく申し上げます。

友好交流

レポート



「中秋明月祭 大阪2013」開催 —府日中も主催者として運営

「関西から友好」をテーマにした第5回中秋明月祭が9月14日(土)～15日(日)に史跡難波宮跡で開催され、約2万人の来場者を集めた。開幕式では主催者を代表し、明月祭実行委員長の于学偉氏、谷井昭雄会長が挨拶を述べ、続いて共催者を代表して中国駐大阪総領事館の于淑媛副総領事と大阪市の村上龍一副市長が祝辞を述べ、テープカットが行なわれた。当協会は昨年より主催団体の一つになり、今年は更に積極的に全体の運営にも携わった。地区協会からの出展参加も昨年より増えて8地区協会となったこともあり、大阪府日中合同ブースも面積を広げて各出展協会は積極的な販売を行なった。

昨年、大好評を博した上海少年少女雑技団はあいにく来日できなかったが、メインステージでは関西在住の芸術家を中心とした民族楽器の演奏や、大阪三島日中友好協会紫岳会による漢詩と詩吟の披露、くまモン体操、ベリーダンスなど様々な演出に来場者は老若男女を問わず大いに楽しんだ。2日目の午後からは激しい雨に見舞われて苦労させられたが楽しい2日間であった。



開幕式 テープカット



府日中合同ブースの全景(手前 堺日中から)

大阪三島
紫岳会の皆さん

府日中合同ブース(北摂地区コーナー)

上海から防災防犯訪日団が来阪

8月30日に上海から防災訪日団5名、上海市人民対外友好協会常務理事の濮勤綱氏、上海市民防弁公室総行程師 胡敏氏、上海で防災モデル区となる閘北区から民防弁公室の丁崇輝、季裕弟、劉明剛各氏が阿倍野防災センターを視察し、大阪市危機管理室長松本正三氏、大阪市消防局地域担当、防災センター所長らと質疑を行ない大阪市での防災の取り組みについて学び、非常に実りある訪問となった。その後の昼食会では小田眞弘理事長らと和やかに懇談を行なった。



上海防災訪日団 阿倍野防災センターを視察

北京で記念シンポジウム開催

大阪府日中から3人が参加

「日本と中国」11月1日号でも紹介されたように、日中平和友好条約締結35周年および中日友好協会創立50周年を記念するシンポジウムが10月22日、北京の釣魚台国賓館で開かれた。当協会からは(公社)日中友好協会名誉副会長の谷井昭雄会長、同じく理事の小田眞弘理事長、同じく常務理事の大藪二郎副理事長の3人が参加しました。

谷井名誉副会長は冒頭の挨拶で、「従来から両協会は、両国の友好発展のため、その活動を通じ大きな役割を果たして参りましたが、今日また、新しい発展の転機にあると考えます。より幅広い、そして世論を動かす力を持って、民間交流を力強く拡大し、より多くの国民同士が相互理解を促進する必要があると考えます。今年の大阪華僑総会や留学生の方々の「中秋明月祭」には、大阪府日中友好協会も共催者と



北京シンポジウムで挨拶する谷井会長

して参加し、地元の日本人も多く出席し、大阪で活躍される中国の皆さんとの親交を深め盛大に行われました。まさに「隗よりはじめよ」という言葉の実践です。身近な活動の積み上げの大切さを感じました。

わたしたちは来年5月に予定されております第14回日中友好交流会議を大阪で準備しております。この会議はこれからの友好交流の拡大、発展の大きな力になるようにしたいと考えております。来年の交流会議が、日中のよりよき環境の中で開催できますよう、共に努力しましょう」と呼びかけられました。

国際社会高齢福祉、介護事業発展 協力フォーラムに参加

2013年9月25日から26日まで中国江蘇省で開催された「2013年国際社会高齢福祉、介護事業発展協力フォーラム」に大阪府代表として、府日中友好協会、府社会福祉事業団、府社会福祉協議会の幹部と参加しました。海外からはドイツ、カナダ、ロシア等7カ国と中国の各界の代表が参加して、福祉、介護サービス分野の発展と協力のあり方を討議し、関連する交流についても一致しました。

研究課題は、(1)介護サービス基準と評価、(2)介護サービスの人材育成と現職教育、(3)介護事業における政府、社会、家庭及び個人の責任研究などで、各国の取り組みの発表がありました。日本からは大阪府、石川県、北海道の代表が参加し、代表して府社会福祉事業団の山上常務理事が「大阪府における高齢者施策の現状と社会福祉事業団の人材育成について」取り組み内容について発表をして頂きました。

開催地江蘇省では、65歳以上の人口が総人口の10.89%を占めているそうです。日本の高齢者人口の推移では、1994年に14%を超え、2010年では22.8%となっています。また大阪府において来年は4人に1人が65歳以上となり、さらに認知症を有する一人



フォーラム会場にて(右から江原、清水副理事長)

暮らしの高齢者の増加が予想されます。

今回参加した各国ともに急速な高齢化に伴って、医療、福祉、介護サービスの供給量の増加と社会保障費の増大が予想されます。その対策として、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けることが出来るように、必要な医療、介護などのサービスが受けられるような「地域包括ケアシステム」を構築していくことが重要であります。そして、福祉、介護に従事する人の「人材育成」が最も重要であり、府日中友好協会として、新しい活動のひとつとして、中国と大阪との「社会福祉、介護事業」の交流と協力を推進することを提案します。今回のフォーラムに参加して学んだこと、多くの方と出会い、人とネットワークを今後の府日中の活動に活かして行きます。

(副理事長・清水正弘)

第31回全日本中国語スピーチコンテスト 大阪府大会が盛会に開催

当協会主催の第31回全日本中国語スピーチコンテスト大阪府大会が、中国駐大阪総領事館、大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、関西・大阪21世紀協会の後援を受けて10月27日(日)ヴィラ・エスポワール南森町研修センターで開催された。

戸毛敏美副会長が主催者を代表して開会の挨拶、審査員は西川和男(関西大学教授)、馬贊(中国駐大阪総領事館 教育室領事)、胡士雲(四天王寺大学教授)。出場者は昨年(13名)を大幅に上回る33名となり、応援団も入れて60名を超え、会場は熱気に溢れた。

各部門の1位は、朗読/一般の部で川上ゆきこさん、大学生の部で多田優理子さん(関西大学)、暗誦の部(大阪府独自部門)で中村大智さん(摂南大学)、弁論の部で宮田知佳さん(神戸市外国語大学)となった。1月に東京で開かれる全国大会には宮田知佳さんが弁論の部に出場することになり、また川上ゆきこさんも選ばれた。健闘を祈ります。



出場した皆さん、審査員の先生方と記念撮影



弁論の部で優勝した宮田知佳さんに戸毛副会長から盾を贈呈

総領事館での交流イベント

全地区協会の代表と総領事館が率直に対話

11月5日(木)に中国駐大阪総領事館にて大阪府日中及び府下の14の全ての地区協会の代表(総勢33名)と総領事館からは王軍副総領事をはじめ政治文化室の方々との初の座談会が開催されました。

はじめに王軍副総領事から、現在日中関係が厳しい状況にある中、どうしたらいいか率直な意見交換をしたい、領事館としても努力をしたいとの話があり、林昭嘉副会長から「時宜を得た開催であり、本日は遠慮なく忌憚のない発言をしていただきたい。友好協会として、どうあるべきかなど。政治はさておき、両国は相互依存の関係、平和で和やかな関係でありたい」との挨拶に始まり、各地区協会からは「友好交流都市間の交流が止まっている」、「ギクシャクした関係の時期には民間交流先行も限りがある」、「協会の会員も高齢化、若者を勧誘するには何か楽しいこと、夢が必要、スポーツ、ジャズとか芸能など若者の交流を」、「地域の中国人の方と仲良くする」、「かつて日中友好協会は魅力的な活動をしていて身近な存在であった。活動の基礎はあるので今風に工夫



総領事館で府日中地区協会代表との座談会

して、友好の架け橋の役割を果たすようにしたい」など様々な意見が率直に述べられた。

また中馬弘毅評議員議長からも「国は立場、面子があり駆け引きもあるので、それとは別に、民間の立場は仲良くすべきである。両国は引越しができない関係、経済も密接である。従来通りやるのが大事である。」との意見が述べられました。

座談会は時間の関係もあり、その後、劉毅仁総領事と谷井昭雄会長も参加しての夕食会となった。これからも、このような機会を持ってお互いの意思疎通を密接にしていくことの大事さを改めて感じられた。

関西ブロック女性交流会 白浜で開催

平成25年10月7・8日、交流会が和歌山県白浜で開催されました。当日は毎週のように押し寄せる台風を案じながら、大阪からは4名が参加しました。大阪難波午後2時発の直通バスで近大水産研究所の試験池やヨットハーバーを車窓から眺めながら、丘の上に立つ会場のコガノイベイホテルに到着し、午後5時から交流会議が1府4県13名出席のもと開催。

津田次期和歌山県女性部長の司会により、清瀧女性部長のご挨拶にはじまり、各府県の参加者紹介と活動報告がありました。女性単独の事業は稀少ですが、府県協会事業には女性部として大いに尽力されている様子が伺われます。奈良県は「春節を祝う集い」に干支(巳)の創作折紙を女性部が担当した等。いずれの地域も活動できる委員の減少・高齢化、活動資金の問題が課題であると訴えられておりました。大阪からは女性委員会事業として委員相互の親睦と情報交換、勉強会、中国友好関係者との交流を目標としている。5月に女性委員会主催の勉強会として



懇親会 白浜コガノイベイホテルにて

「尖閣諸島問題を考える」をテーマに戸毛関西外大孔子学院参事を講師に迎え開催したところ男性会員も多く参加し活発な討論がなされたことなどを報告しました。

次年度開催地兵庫県の大西さんから、平成26年は全国女性委員会設立30周年を迎えるが埼玉県川越市で記念行事を開催するとの報告がありました。

午後6時から懇親会に移り、ご当地の新鮮な魚介類に舌鼓をうちカラオケに興じ親睦を深めて翌朝10時に現地解散致しました。

(女性委員長・川上 和)

(公社)日中友好協会

西日本実務者交流会議

池田市で関西ブロック会議と共に開催

(公社)日中友好協会主催で西日本都道府県実務者交流会議が11月14日(木)～15日(金)に大阪府池田市「不死王閣」で開催された。14日は11時から関西ブロック会議をまず行ない、活動報告と、来年大阪で開催予定の第14回日中友好交流会議に向けて関西ブロックを挙げての協力をする事で合意した。

13時30分から西日本実務者会議となり、開催地を代表して小田眞弘(公社)理事と本部を代表して村岡久平(公社)理事長が挨拶を行ない、続いて今回参加した19府県協会(総勢43名)から現況報告がなされて1日目の会議は終了した。

14日の夜の懇親会には中国駐大阪総領事から劉毅仁総領事、谷井昭雄大阪府日中会長、倉田薫池田市日中会長も参加し、劉毅仁総領事からは「来年大阪で開催となる日中友好交流会議には総領事館も全力で支援をする」との力強い宣言がなされ、会場は大いに盛り上がった。



西日本実務者交流会議



11月14日の夕食懇談会 劉総領事、谷井会長も参加

第16回日中親善ゴルフコンペ

11月26日(火)第16回日中親善ゴルフコンペが豊中市日中友好協会のお世話でアートレイクゴルフ倶楽部で開催されました。

総領事館からは総領事をご都合で欠席となり残念でしたが、王軍副総領事を含む3名が参加くださり、総勢19名で行われました。優勝されたのは総領事館の季笑宇領事です。

プレー後は懇親会が行われ、和やかに親睦を深めました。次回開催は春に予定しています。総領事館の方や会の方とゴルフを通じて親睦を深める良い機会ですので、より多くのご参加をお願いいたします。



ゴルフコンペに参加された皆さんでの記念撮影

2013年忘年会

118人が出席して盛況

厳俊さんに感謝状を贈呈

12月5日「徐園」で開催、今回は中国駐大阪総領事館より劉毅仁総領事、王軍副総領事、政治文化室からは張梅室長をはじめ5名全員、加えて牛興茂経済商務室長、李春生教育室長、夏欣僑務室長、李志華総務室長など各室からも1～2名の参加で総領事館からは合計14名の方にご臨席頂き、会場の各テーブルには総領事館の方がほぼ居られるという華やかな宴になりました。

谷井昭雄会長、劉毅仁総領事の挨拶の後、9月16日台風18号で増水し激流の淀川に転落し流されていた9歳男児を見つけ、命がけで飛び込み救出をした、大阪市立大学留学生の厳俊さんに谷井会長から「あなたの勇気ある行為は、多くの日本人に深い感動を与え、日本と中国の友好を願う多くの人に明るい希望を与えてくれました」との感謝状と記念品が贈呈されました。

小田眞弘理事長の乾杯の発声の後、ミニコンサート(歌/米良宏美さん、ピアノ/木戸妙さん)があり、コンサートの最後には皆で「花は咲く」を歌い、歓談に移りました。また初めてビンゴゲームを行ない



劉毅仁総領事をはじめ総領事館から14名の参加



厳俊さんに感謝状を贈呈



コンサート後の記念撮影

ました。景品には1等3万円の商品券をはじめ豪華多様な景品が会員及びご来賓の皆様から提供して頂き、会場は大いに盛り上がりしました。

最後に東久継さん(評議員)が撮影された中国大陸の風景と当協会名入りの日中共同カレンダーを参加者にプレゼントし、好評のうちに終了しました。

上海大学生女子バスケットボール訪日団が来阪

上海から4大学(上海交通大学、華東師範大学、華東理工大学、上海体育学院)の女子選手19名と引率10名のチームが来日し、東京で早稲田、関東選抜の2試合、立命館大学で関西選抜と計3試合の交流を行ない、12月11日に大阪で歓迎会を開催しました。府日中からは日根野副理事長ら3名と王磊領事が参加しました。



程永華駐日本中国大使と会談 今年の日中友好交流会議について話し合う

12月13日、谷井会長、小田理事長、大藪副理事長と藤井事務局長の4名が東京の中国大使館を訪れ、程永華大使と会談しました。

席上、谷井会長からは2014年5月に大阪で開催予定をしていた第14回日中友好交流会議が、中国側の対外友好協会創立60周年全国大会と日程的に重なるため少し開催時期を延期としたいと中日友好協会から提案があったことを報告しました。開催時期については、再調整が必要となるが、大阪で開催することについて、2点のお願いをしました。1点目として、大阪府下には14の地区協会があり、中国と友好都市提携を結んでいる都市も多い。ぜひ、中国のそうした友好都市からも来阪して頂きたい。2点目として、大阪での開催に当たっては、友好協会同士の交流だけではなく、大阪府、大阪市そして経済界も含めた交流をぜひ行ないたいと考えている。日本の貿易全体の中で中国とは20%を占め、米国とは13%、関西は20%の内3割を占めている。経済において日中関係は切っても切れない関係にある、と、ご理解とご協力をお願いしました。

程大使からは、こういう交流事業に対しては大使館としても大いに支持する、との、力強いお言葉を頂きました。



程永華大使と語り合う谷井会長
(中国大使館にて)



中央 程大使を挟んで
谷井会長、小田理事長(左)

この後、小田理事長から昨秋の中秋明月祭の報告もあり、また府日中の忘年会では大阪総領事館から劉総領事をはじめ多くのご参加を頂いたこと、その場で留学生の厳俊さんに感謝状を贈呈したことも報告しますと、程大使からは「2回飛び込んだということは1回目で、流れが激しくこれは命懸けだとわかったはず、それでもまた飛び込んだことが偉い」と話されるなど、和やかな会談となりました。

『文化茶話会』6回開催

～ちょっとティータイムしませんか？～

昨年は「文化茶話会」を下記のように6回開催しました。講師になって下さった皆様、ありがとうございます。

- 6月15日 花谷幸比古氏「東洋医学、中西医合作」
- 7月20日 藤井秀幸氏「欧州・原点としての古代ローマ」
- 8月31日 青木俊一郎氏「世界の華僑」
- 9月21日 本郷成保美氏「太極拳について」
- 10月19日 宮本靖彦氏「日中友好貿易の歴史」



8月31日 青木氏(左)を
講師にお招きして

11月16日 竹下晃治氏「西村真琴と魯迅」

当協会会員には、様々な一芸に秀でた方、豊富なご経験を有しておられる方など多士済々の面々がおられます。例会の講師としても、引き続きお願いをさせて頂きたいと考えております。何卒よろしくお願ひいたします。

●日時：(基本) 毎月第3土曜日 14:00～

●場所：大阪スカウト会館

●主催：NPO大阪府日中友好協会 文化委員会

《これからの予定》 講師

2月15日(土) 劉中耀氏 大阪華僑総会副会長
「華僑について」

3月15日(土) 山本義輝氏 阪南市日中
「農業現代化交流による日中友好—
私の体験を基に」

4月以降も引き続き開催します。詳細はホームページに掲載していきます。

◆参加費 500円

さようなら、ありがとう 藤尾 昭さん

当協会名誉副会長で池田市日中名誉会長の藤尾 昭さんが、11月7日逝去されました。86歳でした。

11月9日の告別式には、池田市日中はじめ当協会、各地区協会の役員、会員が多数参列し、谷井昭雄会長が故人の日中友好に尽した功績を称える弔辞を霊前に捧げました。

藤尾さんと中国との関りは、敗戦直後の学生時代に中国からの帰国者救援活動に始まり、大阪府日中には1950年の設立時から加入、多くの先人や華僑の方々とともに協会の基礎を築き、発展に寄与されました。1999年に副会長に就任。またその間、全国本部の組織部長として全国を駆け巡り、各地の協会の誕生を助けられました。

1979年には大阪府下第1号の池田市日中の設立に参画、1998年から一昨年まで第2代会長を務められて友好都市蘇州市との交流に力を注ぎ、とくに提唱された寒山寺の除夜の鐘を聴く会は中国でも有名な行事になりました。これらの功績により、2002年には蘇州市名誉市民の称号を受けられました。



弔辞を述べる谷井会長

藤尾昭さんの思い出

副理事長 大藪 二郎

大先輩を“さん”呼ばわりするのは、気が引けますが、藤尾さんと呼ばせてください。当協会の事務所が南森町と梅新の中間のところの高橋ビル別館にあり、大阪外国語大学（今は大阪大学に）の学長を務められた金子二郎会長の時代、おそらく1980年代初め頃、協会から5分東のところに藤尾さん（当時副理事長）が社長を務めていた（株）関西国際旅行社がありました。

そのビルには、友好商社の細井馨社長（副理事長）の千曲産業（株）もあり、協会の前の道路を越えたところには、中国の書籍を専門に扱う東方書店と、友好商社の保坂鉄也社長（このひとの中国語はうまかった）の（株）神戸友好。また、山中林之助副会長（教育タイムス社長）、伊地智善継学院長（大阪外国語大学学長を務めた）の協会付属大阪中国語学院・日本語学校が南森町の交差点のところ、協会の事務所の隣には高田明会長（のち理事長）の大阪太極拳協会がありました。その大阪太極拳協会は、その頃中心となり初めての全国大会を大阪で開催しました。こういう状況で、誰が言うともなしに、その辺は「日中友好村」と呼ばれていたのです。東方書店で本を買って、旅行社で訪中の相談をして、ちょっと協会へという状況でした。

そんな頃、わたしが兩宮礼三理事長（長く理事長を務め、その功績で上海の宋慶齡墓地に夫妻の墓があります）と、東京の神田錦町の本部を訪問していたとき、急に藤尾昭さんに用事ができたのです。会社に電話をすると、「出かけていません」との返事。当時は、今のように携帯電話というものがなく、ガリ版に代ってワープロがやっと普及してきた頃でありました。そこで、もしかた協会に電話を入れました。果たして、電話をとった高倉まささんが、「おられますよ」との返事、連絡が取れたのです。その高倉さんは、旦那さんが満州鉄道の駅長を勤めた方で、中国から帰国後ずっと協会の事務局に勤められ、縁の下で頑張ったおばさんでした。

こんなことが、藤尾さんとはよくありました。藤尾さんは、暇があれば協会に足を運んでいました。否、協会に足を運ぶために暇を作ったということだったと思います。藤尾昭さんが、蘇州寒山寺の除夜の鐘つき旅行を思いついたのは、こんな環境で生まれたのです。初めての迎春訪中団は1979年の年末から新年にかけ、金子二郎会長夫妻、梅舒適副会長夫妻（有名な書道家・篆刻家）、兩宮礼三理事長夫妻、井田正副理事長夫妻（医師）、藤尾昭副理事長夫妻らで構成され、金子二郎会長が団長でした。すでに、藤尾多鶴子夫人と梅舒適夫人以外、みな鬼籍の人。



蘇州寒山寺での除夜の鐘つき(上) 蘇州市長と(上右)

今年も、遠く蘇州の寒山寺の除夜の鐘を聴きながら、当時の事を思い出し、新しい年を迎えました。

心の中に生き続ける「藤尾会長」

副理事長 安黒 善雄

藤尾昭さんの訃報を知った多くの方々から私に寄せられた声はほとんど同じでした。「残念」「どうして？あれほどお元気だったのに」「また一緒に中国に行きたかったのに……」。中国と、そして藤尾さんとの関わりがあった方々の声に、本当に偉大な方が亡くなったのだと改めて知らされました。

1926年12月30日のお生まれ。僅か1週間しかなかった「昭和元年生まれ」でした。終戦直後の1945年に舞鶴での引揚げボランティア活動、戦災孤児の援助、被災地の復旧などに携わり、その頃から中国との接点が出来たとお聞きしていました。

困った人がいれば一番に駆けつける方でした。終戦直後のさまざまな活動もそうでしたし、2008年5月の四川大地震では、ただちに街頭募金を行い、預かった義援金を真っ先に中国総領事館に届けられました。

日中友好に関しては、活動を通じて組織づくりをしようと全国に飛び、各地の日中友好協会の基礎を築かれたとお聞きしました。大阪府内では、池田市日中の立ち上げをはじめ、武術太極拳、卓球などさまざまな団体の基礎を中国との繋がりにおいてサポートされていました。

文化交流、青少年交流にも熱心でした。江蘇国際文化交流センター、上海同済大学生のホームステイ受入れ、春節での留学生招待、中国ゆかりの史跡探訪バスツアー、日中友好音楽祭などなど数えればきりがありません。このような日中両国民の相互理解を推進する事業を、他の地区協会や団体と連携しながら進め発展させようというご意思でした。



私は故藤尾会長により中国との接点をつくっていただき、日中友好交流の仕事をしていることに心から感謝しています。初めてお会いしたときに池田市日中会長だった藤尾昭さんは「藤尾さん」ではなく「藤尾会長」と心の中で呼んでいます。本当にありがとうございました。

日中友好ひとすじ、無私の人 でした

副理事長 中務 武志

いつかこの日が来ると覚悟はしていましたが、いざ藤尾さんに去られたいま、心の中に大きな空洞ができた思いです。

1991年に初めてお会いして以来、私にとって日中友好活動の偉大な先達であり「師匠」でした。「おい、もっと飲め」。お好きだった芋焼酎をどほど注いで頂きながらの酒席はかけがえのない「勉強」の場でした。国交正常化以前の苦闘の時代の先人たちの話、支援してくれた華僑の方々の名、全国本部の組織部長として全国を駆け巡った思い出などは、つまり「原点を忘れるな」の教えだったと思います。「おい、こんな資料があったぞ」と本やコピーを送ってくれたこともしばしばでした。また私が所属する阪南市日中の総会や春節会、記念行事などにも、遠くから何度も来てくれ、二次会にまで付き合ってくださいしたのは、地区協会を重視し育てようとの思いからだったのでしょうか。蘇州市の呉中区が阪南市日中の交流相手なのも親近感を持たれた理由でした。呉中区政府を藤尾さん、明石阪南市日中会長と一緒に表敬訪問し、夜は幹部の方々と痛飲したのも懐かしい思い出です。

日中両国での顔の広さとその方々から深い信頼を得ている様子もしばしば印象づけられました。それでいて、いわゆる活動家タイプでなくゴルフ、麻雀など趣味が広く、洒脱な紳士でした。女性が好きで、また女性に好かれました。その懐の広さも藤尾さんの魅力でした。

まさに日中友好ひとすじといってよい生涯でしたが、これも奥様はじめご家族のご理解とご協力があったからこそ聞いています。告別式の挨拶でご長男の藤尾光氏が、周囲から白い目で見られた時期があり、一月以上も留守にすることがあったと述べられましたが、それが受け入れられたのも藤尾さんの信念と人徳だったのでしょう。

いま、さびしさとともにこの方と出会えた喜びを噛みしめています。

世区会 NEWS

池田市日中

池田市日中友好協会は今年、創立35周年を迎える

1979年4月、府下初の地区協会として発足以来、多く先輩たちが輝かしい偉業を重ねて来られ、今の協会がある。同時に、数えきれないほどの辛酸労苦を経て来たことも、事実であろう。

当協会の新聞「友好だより」の前身は「協会ニュース」と称していた。その第1号は80年5月に発行。新事務所に移った現在は新しくバインダーに分類し、その時のまま保存している。当時の事務局は池田市木部町にあったことが記されている。小山藤兵衛池田市卓球協会会長が会長、藤尾昭関西国際旅行社社長が副会長に名を連ねている。

協会発足の立役者になる一人、藤尾昭名誉会長が昨年11月に逝去されたことは、当協会にとつともなく大きな風穴が開いた。日中関係を我がことのように心底傾注され、正面から意見され、積極的に行動された。中国に係わる見識は蘇州市政府の人さえも感嘆させるほど深かった。日中友好の根っからの「活動家」であった、と思う。蘇州市外事弁公室と寒山寺は、「寒山寺除夜聴鐘迎春行事」に先立ち、倉田会長と名誉会長夫人の提案を受け、境内鐘樓の近くに蘇州の市花である金木犀の植樹と大理石の書簡式石碑を記念に建てることを、快く賛成して頂いた。2014年度の総会を機に発行する計画である「記念誌」には、病床に臥していた当時、肺に水が溜まり息苦しい思いに堪えながら、声を振り絞るようにして話された名誉会長への特別インタビューを載せることにしている。

79年10月、その後の81年に友好都市締結に至った中国蘇州市を、協会訪中団が訪ねた。大阪国際空港(伊丹空港)で、出発する直前のイリュージョン機のタラップの前に団員24名が整然と誇らしげに並んだ白黒写真は、貴重な歴史の1コマだ。私はタイムスリップする思いで「協会ニュース」に見入った。「呉の都」蘇州市の中国と池田市の関係は5世紀からのも



「友好だより」の前身「協会ニュース」第1号 80年5月発行

ので、織物とくに「呉服」を通じて交流があった、と蘇州市革命委員会の熱烈歓迎の言葉を受けている。行く先々では人民服一色の人々に笑顔で迎えられ、寒山寺では池田特産五葉松を記念植樹したと、当時の藤尾副会長が記してある。

発足当時、10名の発起人が30名の会員を勧誘して池田市日中はスタートした、と名誉会長から聞いている。現在は70数名。その名誉会長が名簿から消え、創設期からの会員は11名になった。内訳は、法人3、団体6、個人2、である。今年、当協会が創立35周年を迎えるにあたり、この紙面を借りて長年の艱難辛苦に敬意を表するものである。

(理事・事務局次長 大塚寛治)

枚方市日中

「継続は力なり」

3つの活動を通じて学んだ大切なこと

9月28日(土)、関西外国語大学穂谷キャンパス第2国際交流セミナーハウスにおいて、本協会と関西外国語大学孔子学院の共催で、第2回目となる「中秋節月見交流会」を開催した。

竹内脩市長、中国総領事館教育室李春生室長、大



月見交流会は大盛況（関西外国語大学孔子学院にて）

阪府日中谷井昭雄会長、関西外国語大学谷本栄子理事長が来賓として出席くださった。会場入り口にはススキの生け花と月見団子、中国の伝統的な月餅が飾られ、日中のお月見についての説明が中国語と日本語で展示された。日本側からは、茶道、和服の試着、日本舞踊が準備され、9月に来たばかりの留学生たちは色とりどりの浴衣を着せてもらい、慣れない下駄をはきながら嬉しそうに友だちと写真を撮り合っていた。中国側からは民族衣装の試着、中国茶、切り絵などが提供され、参加した市民、学生たちが留学生と賑やかに交流し、笑い声と歓声が響いた。

昨年に比べて内容がより充実し、お互いの文化をよく理解し尊重する雰囲気あふれる楽しい活動となった。

10月6日（土）、第14回「ひらかた多文化フェスティバル」に参加し、中国文化の紹介、中国茶芸の披露と試飲、フリーマーケットを行った。今年のテーマは「友だち」。中国語では「朋友」というが、今いちばん大切な言葉ではないだろうか。

この活動は、アジア、オセアニア、アメリカ、南米などから来日し枚方に住んでいる方々が、バザーや舞台での歌、舞踊などを通じて市民の方たちと交流し、お互いの文化を理解することを目的に毎年開催されている。枚方市日中は関西外国語大学孔子学院に依頼して太極拳と扇子舞を披露していただいた。日本人にも馴染み深い太極拳と可愛く明るい扇子舞は、市民の皆さんに新たな中国文化の魅力を紹介できたのではないだろうか。

10月20日（日）、「枚方市中国語を学ぶ会」の創立30周年記念式典・祝賀会に参加した。この会は設立当初から枚方市日中と深い縁があり、現在もさまざまな活動を通じて交流を深めている。

当日は、当協会山中卓会長の祝辞に続いて大阪府日中副会長で関西外国語大元教授の戸毛敏美先生が、ご自分の経験から日中友好の大切さと、お互いを理解するために必要なことは何か、そして努力するこ



来賓の方がた

留学生と賑やかに交流「どう、似合う？」



中国伝統服飾展示

との重要さを熱く講演してくださった。その後、落語家の露の信次師匠が、学生時代に関った中国残留帰国者との交流を通じて学んだ言葉の大切さを語り、「中国語落語」の楽しさを身ぶり手振りを交えながら楽しく話してくださった。会員の皆さんの出し物も素晴らしいものであった。

今年、三つの活動を通じて、継続すること、あきらめないこと、努力することの大切さを学んだ。今、日中への懸け橋をより強固なものにするために必要な教えではないだろうか。（担当理事・森田洋子）



青年部「たかつきフェスタ」に成果

「中国料理教室」好評で継続実施

高槻市の一大イベントである「たかつきフェスタ」が、8月3日（土）、4日（日）の両日開催され、青年部を市民や来場者に広く周知するため参加、出店した。

出店には今年水餃子、鶏のから揚げ、発泡酒、ウーロン茶、ソーダ飲料を取り扱い、毎夜14、15人のスタッフが販売に汗を流した。幸い2日間とも好天に恵まれたこともあり、メインの水餃子とから揚げの売上げが好調で、2日目は終了時刻を待たず早々に完売した。気になる売上げは、僅かとはいえ、5年目にして初めて黒字に転じた。大きな成果だった。過去4回の経験と反省から、取り扱い商品の品目や数量、運営面につき、見直しや工夫を重ねてきた結果の結果であろう。人手の問題も、理事をはじめ会員、それに中国語教室の受講生が自主的に協力を買って出てもらったことに、本事業への関心の高まりと、土台が固まりつつあることを実感した。

12月1日（日）、第3回「中国料理教室」を市民交流センターで実施し、18人が参加。4～5人がテー



2013年12月1日 中国料理教室の参加者たち

ブル毎に4班に分れ、各テーブルには中国人が1、2人加わった。今回は中国人には常食の水餃子づくりに挑んだ。近頃は日本人の家庭料理にもよく使われている餃子を、さらに親しく身近なものにもらうために取り上げた。講師の劉金忠・青年部副部長が全体を指導する一方、各班の中国人から説明を受けながら、予め用意された食材をレシピに従って真剣に、時にはジョークを交えながら進行した。悪戦苦闘？すること1時間半。参加者は、出来上がった餃子を他の班のものと食べ比べしながら、会食を大いに楽しんだ。(理事・笹井 宏)

堺
日
中

多くの参加者とともに 創立35周年を 祝いました



創立35周年記念式典で挨拶する曾我部会長

9月に難波宮址で開かれた中秋明月祭。府日中の借上げブースに各地区協会も積極的に協力しようということで、堺日中も昨年に引き続き友好都市・連雲港市紹介や活動展示に加え、堺の特産品(昆布、練香、はさみなど)を販売した。今回も雨に見舞われたが、例年以上に日本人客が多く盛況だった。

10月27日、堺市役所前の市民広場でインターナシヨ

ナルピープルカーニバル(民間国際交流団体のまつり)が開催され、特設ステージで太極拳の演武、フリーマーケットで中国語生徒による手づくり品の販売などを行い、国際交流の促進に一役買うことができた。

11月15日には当協会創立30周年記念式典と祝賀会を開催。堺市長は急用で来られなかったが、市議会議長、中国総領事館から王軍副総領事、大阪府日中から谷井昭雄会長はじめ各地区協会から多数の代表者に出席いただき、60余名の会員とともに盛大に創立30周年を祝うことができた。

30年間、役員として尽力いただいた林名誉会長はじめ3名の方々に感謝状を贈呈し、二胡演奏会のあと、懇親パーティーでは「30周年快樂」の歌を中国語教室生徒と来場者一体となって合唱し、みんなで30周年を祝うとともに今後一層の日中友好促進を誓い合った。(会長・曾我部篤爾)

河内
長野
市
日
中

肝っ玉中国朋友3人組

10月27日、河内長野駅前で人気のイベント『奥河内高野街道祭り』が開催されました。“豚まん販売”で知る人ぞ知る市日中友好協会もこの機を逃すまいと好位置での出店を試みましたが、出店希望者が多く、結局、用意していただいた場所は地酒“天野酒”の酒蔵の奥のそのまた奥、しかもトイレ横でした。

案の定、客足は鈍く、不器用な呼び込みの声は空を切り続けました。

今回は少し張り込んで神戸南京町から本格豚まんを仕入れたので、売れ残ったら役員で買い取る話まで飛び出しました。

ところが、客人として覗きに来てくれた地元中国朋友3人娘が、救世主となりました。なんと、そのまま助っ人役を引き受けてくれるや物怖じしない独特のノリで客の呼び込みをしてくれました。その瞬間、売り場の雰囲気はぱっと華やなぎ、売れ行きは急上昇。予定よりも早い午後1時前に500個全て完売となりました。

まさに、肝っ玉中国朋友3人組(娘)！?

感謝感謝です。

(会長・大原一郎)

中秋節お月見会 盛大に

中国旅行は初の台湾へ

中秋節当日の9月19日、恒例のお月見会を「茶の間ギャラリー」で開催しました。会場の向かいには総合グラウンド。さえぎるもののない夜空にみごとな満月が輝いていました。

参加者は50数名。当協会の中国人理事、谷和さんが声をかけてくれた市内在住の中国人、和歌山外国語学校で教える理事の宅明さんが誘った中国人留学生、日本語クラブの森会長が連れてきてくれた中国人、それに当協会の中国人会員、役員を合わせてほぼ半数が中国人でした。

今回のメインの催しものは、プロのクラリネット奏者、三戸さんのクラリネットと古典楽器「シャルモー」の演奏。「荒城の月」「茉莉花」など日中のメロディーはさすがに聴き応えがありました。さいごは全員で「故郷」の合唱。

女性会員たちが用意してくれた料理と飲み物で懇親パーティー。お酒や月餅、月見団子などの差し入れもいっぱい。中国人会員の漢詩朗読と歌、中国人ゲストによる二胡の飛び入り演奏もあって、楽しく意義深い催しになりました。

10月20日からは初の台湾旅行。4泊5日で、参加10名。台北、高雄、花蓮、九分など各都市の観光地、新幹線、屋台グルメなど大陸中国とはまた違った「もう一つの中国文化」にたっぷり触れた印象的な旅になりました。

このほか親睦と健康のための近郊ハイキングも9月以降に3回実施。特に泉州地区の共同行事として他協会に呼びかけて行った11月2日の「貝塚・水間、ほの字の里ハイク」はいろいろアクシデントもあり少数の規模となりましたが、曾我部会長など堺日中会員の参加を得て無事に終了しました。(会長・明石 啓)



中秋節お月見会

奥吉野祈りの旅



講演会報告に訪れた管秀蘭氏と
廣瀬副会長

8月は夏休みとした後、9月14日武内会長による『日中関係からよむ万葉集(3) 遣唐使の歌(上)』と題する講演会で活動再開。

10月12日立命館大学特任研究員として来日中の山東青年政治学院の管秀蘭氏(故廣瀬省三副会長同校勤務時の同僚)による『日本人の対中国認識面での社会階層問題分析』と題する講演会を行った。氏の博士論文執筆の資料収集や問題分析への提言も求められ、祭礼と重なり少ない参会者ではあったが真摯なやり取りが行われた。

11月2～3日恒例の一泊旅行。今年は奥吉野へ。一日目に悲しい出来事が。竹田久美さんの旅行記より抜粋、「奥千本口でバスを降り、きつい上り、下りを歩いているとメールの着信音が。『廣瀬先生ご逝去』とのメールでした。山々に囲まれ、静謐な空気の中で聞く訃報は、何か厳かな気持ちにさせられました。落ち込む気持ちを励ましつつ旅を続けました。一日目は金峰神社、西行庵、苔清水を見学。(中略)二日目は吉野水分神社から。私の知人も中嶋さんの知人も入れなかった、という霊気の強い場所。さて私達は無事足を踏み入れることができるのか? 何も感じることなく入ってしまった。

その後、竹林院、吉水神社、金峰山寺などを見学しながら、吉野山駅まで降りました。(後略)」という悲しくも厳かな旅に。

亡くなった廣瀬副会長は、当協会の生みの親のような方。当時は、中国で日本語指導に努められ、日中の架け橋にもなって下さり、得難い中国文化の紹介や一時帰国時には、滞在中のお話やお土産の書籍

を拝見させていただいたり、言い尽くせぬ貢献をしていただきました。4月の堺市への花見旅行の際、寺子屋「清學院」の見学で知った河口慧海について、勉強して来年5月のサロンでと仰っていた、そのお話がお聞き出来なくなりました。

享年75歳。合掌。(事務局長・有岡トシエ)

松原市日中

2014年度の活動計画案



第18回定期総会後の第12回中国映画観賞会とコーラス合唱+松原図書館集會室に於いて

皆様、明けましておめでとうございます。

さて、当協会では昨年秋の第18回定期総会に於いて、第12回中国映画観賞会、地域市民団体とのコーラス合唱に多くの皆様がご参加して頂きました事に感謝しつつ、近づく創立20周年記念行事と今後の活動計画案を提案しながら新年を迎えることになりました。

2014年度の活動計画案は、府日中をはじめ各地区協会の諸活動の日程も考慮しながら企画した活動計画案は下記の通りです。

記

- 今年の第一陣は3月初旬に梅祭りに合わせて日中料理交歓会を新年早々から準備に入りますが、先月12月2～6日に地域の“まつばらボランティア市民活動フェスタ2013”の展示会に参加致しました。パネル展示と活動紹介並びに展示資料として、総領事館より頂きました資料は即座に無くなる好評ぶりでした。この展示会で料理にもご興味のある団体とも一緒に活動計画の話が盛り上がり、今年もより一層の交流活動に華が咲く事を今から期待致しております。
- 4月中旬頃に野外交流活動として、歴史散策シリーズ(第3回)にご当地を中心に歴史が大好きな地域の皆様と一緒に少し汗をかきながら対話の弾む散策交流会を行います。

- 6月は、個人講演として“日中友好をテーマ”に会員による講演と交流会を行います。
- 8月初旬には、恒例の“まつばら市民まつり”に参加して広報と活動紹介など地域での日中友好活動に取り組みます。当協会ではお気軽にどなたでも一緒に企画創作した交流に場にご参加下さいます様ご案内と賛同者を求めます。

又、松原市日中では、今年も地域の市民活動団体と民間レベルでの協力体制を共有しながら協働事業活動を目指し、協会活動を地域の人達にご紹介と広報活動を広く実践して参ります。

今後ともご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。(会長・牛浜龍男)

豊中市日中

86名が参加した 留学生との バーベキューパーティ



田中会長宅での留学生とのバーベキューパーティ

豊中市日中友好協会では本年度5回目となる大阪大学留学生学友会との共催によるバーベキューパーティを留学生61名、会員13名、府日中始め各地区協会7名報道関係者4名、合計86名の出席を得て、11月9日豊中日中友好協会会長自宅庭園において開催されました。本年度は大阪大学の留学生と大阪市立大学及び京都外大など学友会の学生、特に日中の架け橋になったと称賛される時の人、中国人留学生巖俊さんの参加があり、NHKの報道取材に戸惑いを感じながらのパーティーとなりました。秋晴れの素晴らしい天気恵まれ学生達は焼肉を味わいながら懇親、日中入り交じりの交流を楽しみ、隠し芸、ゲームなどに盛り上がり、日中相互の理解につながりました。

以下は学生から参りました感想文の一部を紹介します。

1. 大阪大学大学院文学研究科 招聘研究員 楊さん

会長のお庭で開催されましたバーベキュー大会に参加しました阪大の楊と申します。このような素晴らしい活動に参加できて、またたくさんの日本の親切な方々と話ができ、本当にいい勉強になりました。日本に対する理解が少し深まり日本人に対する考え方が変わりました。また豊中日中の活動に参加できればうれしいです。是非連絡ください。

2. 京都外国語大学日本語学科 曾さん

11月のパーティにお招きいただき、多くの友達が出来ました、そして、ビンゴゲームしたりして非常に楽しい一日を過ごせました。田中会長にお会いできて本当に嬉しかったです。風邪を引かないで日中友好をこれからもよろしくお願いします。

3. 大阪大学中国人留学生学友会会長 辺玉潔さん

素敵なパーティをご用意頂き、留学生の皆様から今回のパーティが大満足で、日中友好の皆様感謝ですとの声が多数です。とても成功したイベントでした。来年もよろしくお願いします。尚豊中日中の魯迅と西村真琴展覧会お手伝いいたしますので必ず声を掛けて下さい。

(常任理事留学生支援事業担当・吉岡誠一)

吹田市日中

NHKからも取材に来た 究極の正宗水餃子

常建華氏の餃子講習会



餃子講習会の様子

昨年11月7日、吹田市日中主催で餃子作り講習会を開きました。参加者34名の内訳は、関西大学中国人留学生男女10名、在職中国人交流協会男女12名、当協会会員12名という、日中民間友好交流のサンプルのような構成になりました。

中国人交流協会は会員約400名で全員が有職者で



餃子講習会参加者一同で記念撮影

す。今年で創立20周年になり、記念誌の発刊に関係者は多忙な毎日です。この日の料理講師は元会長の常建華氏(日本名・古賀)です。60歳になる好漢の常さんは、文革時代に下放で黒龍江省北端、ロシアとの国境に近接する集団農場に配属されていました。餃子作りの腕前はそのときにつけました。常さんのことを知ったNHKが来て放映され話題になりました。もう一人在職会から田玉静さんに来ていただいて卓球の話も聴きました。彼女は9歳から始めて世界青年大会でチャンピオンになり、瀋陽にいた時の福原愛さんとの縁が出来た人です。美味しい餃子を食べながら卓球の話を聴くというコラボは大成功でした。

多くの会員から参加希望がありましたが適切な会場がなく、定員30名と少なくなってしまいました。今回は参加できなかった人のため、再度講習会を計画しています。

(副会長・和田 融)

藤井寺市日中

国際交流協会と共催で 中国料理教室

新年あけましておめでとうございます。平成26年の新年を迎えるにあたり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、藤井寺市日中友好協会では、初めての試みとして、昨年9月に国際交流協会と共催で『中国料理教室』を開催いたしました。メニューは、ニラ餃子と揚げパンでした。参加者は、在日の中国人の方8名を含む老若男女、家族連れなど多くの方にご参加いただき盛況の内に無事終えることが出来ました。普段、料理をされない男性の方からも「楽しい時間を共有できた」と喜んでいただき、開催した甲斐があったと思っております。

政府間では、尖閣問題など緊張が続いております

が、このような市民レベルでのイベントを通じて、日中の友好を深めてゆければと思っています。

大阪三島日中

小雨の中「明月祭」へ 痛みをこらえて出演

今年は三部作で吟を演じる

9月14日(土)～15日の「中秋明月祭大阪2013」へ、当協会から辻紫岳文化担当理事を中心に20名が詩吟で出演。今年は「書道吟」「中国と詩吟のコラボ」「歌謡吟」の三部作で趣向を凝らしました。

特に吟を演じながら書道を書き上げる書道吟は会場から大きな拍手を戴きました。辻紫岳理事は当日朝左足首骨折をされ、一事は出演を危ぶまれましたが、周囲にも助けられ見事吟を詠い最後まで全体の指揮を執られました。

出演者からは「さすが師範！」と感動の声が上がり、無事詠い終え自宅へ帰ってから救急車で病院へ緊急入院されましたが、11月には無事退院され、現在は以前にもまして活躍されています。

大阪三島日中では、今年も「中国茶と茶器」などを販売。あいにくの雨模様にも拘わらず、昨年以上売り上げで黒字となりました。購入いただいた方々に感謝です。
(事務局長・江原 均)

盛況だった摂津市日中友好青少年絵画展

11月30日～12月1日、摂津市コミュニティプラザで「日中友好青少年書画展」を府日中と共催で開催しました。江蘇省人民対外友好協会の協力により、無錫市胡埭小学校から20点の作品、摂津市と近隣の小・中学校の児童生徒の絵画、書道など207点の作品が展示されました。

12月1日午前11時から表彰式があり、200人近い参加者でロビーは一杯になりました。

来賓として森山一正摂津市長、村上弘明摂津市議会議長、大矢摂津市教育委員長、王磊領事、渡嘉敷衆院議員、上西衆院議員、東摂津市議会議員、西島摂津市国際交流協会会長、大藪府日中副理事長など多くの方々が出席されました。

壇上で各団体代表から受賞者の氏名が読み上げられ、賞状が手渡されました。

江蘇省人民対外友好協会から最優秀賞を授与された「岸野めぐみ」ちゃん(かおり幼稚園)作品名「楽



青少年絵画展で受賞者の皆さんと

しい公園」は、王磊領事から赤いカバーに入った中国製の賞状を手渡され、大喜びのしぐさに、会場から一段と大きな拍手が起こりました。

無錫市胡埭小学校からのやや大きめの書道作品は大人も及ばないほどの出来栄で、会場を訪れた市民らを驚かせていました。幼稚園の頃に手ほどきを受け、毎日熱心に練習している成果とのこと。

今回初めて「こども絵画」が展示され、会場に美しい色彩が満ち溢れました。街の風景や自分が乗る自転車、阪神タイガースの帽子など、画面いっぱいにクレパスや水彩を用いたユニークで豊かな発想の絵が飾られ、「次は中国の子供の絵も見てみたい」という市民らの声を聞きました。来年も開催しようと決意を固めました。
(会長代行・小林貞夫)

主な受賞者、作品名、学校名、学年は次の通り。

＜中華人民共和国駐大阪総領事賞＞

書画の部 内山太貴 遠来の友 守口市立小5年
絵画の部 田中惺華 遊園地 吹田岸部第2小1年

＜江蘇省人民対外友好協会 最優秀賞＞

書画の部 小池萌楓 赤とんぼ 鳥飼西小3年
絵画の部 岸野芽空 楽しい公園 かおり幼稚園年中

＜大阪府日中友好協会会長賞＞

書画の部 村上和輝 千里同風 鳥飼西小6年
書画の部 呉雲昊 天地之氣 無錫市胡埭小4年

第2回地区協会会長会議を開催

11月22日、本年度2回目の地区協会会長会議を開催しました。前回7月19日以降の府日中の活動、特に10月22日の北京シンポジウムに参加しての報告をした後、2014年度に大阪で開催予定の「第14回日中友好交流会議」について意見交換を行ない、多くのご提案を頂きました。

また、地区協会委員会より実施したアンケートの結果報告もあり、多くのご意見を頂きました。地区協会の皆様のご協力ありがとうございました。

元留学生に招かれて 北京での結婚式に参列しました

和田 融

昨年9月、北京の葛靖さんから吹田市日中に結婚式の招待状が届き、協会を代表して私が9月19日9時28分からの式に出席しました。(9は久に通じ28は喜ばれる8がWという事)

葛さんは、2010年に大阪大学文学部で博士号を取得して卒業、帰国後は北方工業大学日本語講師に就任しました。阪大在学中は中国人留学生会の副会長、事務局局長を兼務し吹田市日中との友好交流には指導的役割を果たしてくれました。私たちはアルバイトなどの生活相談で留学生の支援をしていますが、そんな縁を忘れず招待状を届けてくれたのです。

さて当日の朝、ホテルから予約していたタクシーで、北京市西部の玉泉山を望むホテル御園匯に向かいました。1時間の余裕を見ていたのですが、今や常態となっている北京名物出勤ラッシュに巻き込まれて9時28分の開式ぎりぎりの到着でした。後で知ったのですが、玉泉山全体が引退した国家最高幹部クラスの居住地になっているそうです。

ホテルの敷地は甲子園球場をらくらく超えるほどの広さで、欧州の古城を思わせる鉄製の飾り門ではダークスーツの門衛が来客に案内状の提示を求め、仰々しくチェックをしています。車寄せのあるメイン棟は3階建ての低層で白亜の宮殿を模しています。このホテルでは、毎日のように大企業や政府関係の会合や宴会が催されていて、特に土、日曜は一般市民の予約など取れないのです。今日は水曜日、結婚式の日取りの意味がわかりました。

広々と豪華な雰囲気ロビーに準備された受付では、新郎新婦の友人たちが華やかな衣装と笑顔でお手伝いしていて、若くて美人ばかりで思わずこちらがタジタジです。ご祝儀の赤い袋がテーブルの上に無造作に積み上げてあるのは、華やかさを盛り上げるためなのでしょう。受付が済むと、ピンクの糸紐を手首につけてくれます。小さな水晶玉がついたブレスレットです。胸に飾る花記章ではないこんな記章は初めてで、ちょっとおしゃれな気分です。出席者全員が付けているので雰囲気は一段と華やかです。

出席の友人たちはそれぞれ1000元ほどのご祝儀を包むそうです。一般には500元くらいと聞いていますが、年々上がっているそうです。

今日の式の参列者はほとんどが友人、同僚らしく、日本の結婚式のような親族や子供、老人、年配者は見



ロビーでの受付で若い美人たちにたじろぐ

当たりません。こんなところが今日の挙式の特徴なのか、あるいは今のエリートの婚礼パターンなのでしょう。若さと勢いを感じましたが、家族や身内のぬくもりも欲しいと思いました。新郎の範くんは若くて優秀な頭脳が結集した、北京市民で知らない人がないといわれる新鋭企業に勤務しています。

芝生の緑鮮やかな屋外の大理石を敷き詰めた舞台での挙式は、中国側、日本側それぞれ1名の祝辞というスマートな進行でした。花嫁の純白のドレスが周囲の緑に美しく映えていました。

続いて披露宴です。広いホールに出席者は約200名。正面の大きなスクリーンに新郎新婦のホットなシーンが流れています。ただ日本のような子供のときの写真はありません。よく考えてみると、20年前の中国の生活水準では子供の写真を残せる家庭はごく限られていたのです。あと数年もすれば2人の幼い頃の写真が溢れるはずですよ。

大きな拍手の中新郎新婦が登場、2人の回っていく先々で乾杯の音が上がります。出席の男性のほとんどがネクタイ着用、こちらでの正装です。Tシャツやポロシャツでも構わないとされる中国ではかなり珍しいことです。1時半頃になると出席者は自然退席の形で席を立っていきます。日本のような引き出物はありません。出口では新郎新婦が立礼していますが、これもまことに自然体、挨拶を交わす人、さっさと帰る人さまざまです。同テーブルの王さんは2時から会社の会議だと言っていました。この国の若い人たちの逞しさを感じます。

おかげで良い体験をしました。葛さん、範さんありがとう。(吹田市日中副会長)



筆者、新婦の隣で記念撮影

MY OPINION

初夢 地球上から国境線が消えていた？

「中国文化に親しむ」と銘打って、講演会を18回実施し、延べ370名の方が聴きにきて下さいました。

初めは少なかった箕面市民の参加者も半数ぐらいになってきました。

第1回：河合洋尚氏「客家の集合住宅（土楼・居龍屋）」（2010年6月）～

第18回：百橋明穂氏「敦煌莫高窟壁画の魅力」（2013年11月）

第5回「ミャンマー黄金の三角地帯」（2011年7月）の講演の中で、はっと思う言葉が講師の羽賀紘一氏の口から発せられました。「ミャンマーのアカ族と中国のハニ族は同じ民族で、ケシ栽培にかけてはプロです。民族問題を考えるときは、国境線を外すと分かり易いです。」

中国は日本の面積の26倍ありますが、陸上の国境線は2万2800キロと長く14ヶ国と接しています。即ち、（北を上にした地図で反時計回りで）北朝鮮、ロシア、モンゴル、カザフスタン、キルギスタン、タジキスタン、

アフガニスタン、パキスタン、インド、ネパール、ブータン、ミャンマー、ラオス、ベトナムです。しかし、この国境線は大体ウネウネとしていて、主に、山脈とか大きな川が国境線をなしています。ところが、アフリカに旅行した時にシゲシゲと地図を見てビックリ。何と、経線や緯線にそって定規を当てたような直線が国境線に使われています。一体、何時、誰がこんな線を人為的に引いたのか、その国境線で隔てられている両国は納得しているのか、その経緯（いきさつ）が知りたいです。日本列島のような島国に生活していると、日常的に国境線を全く感じません。排他的経済水域と言われても、海の上にロープが張ってあるわけでもないし全く目に見えません。従って、お正月でも国旗を揚げない家が圧倒的に多いのも分かるような気がします。地続きのヨーロッパと違って、隣国と区別しなくてもいいのですから。国境線がなくなったら、どんな不都合があるのかなあとぼんやりと考えております。

どなたか、国境線に詳しい方がおられましたら、箕面へ講演に来て下さい。

（みのお中国文化に親しむ会・市村 晃）

“度尽劫波兄弟在” 開催案内

（劫波を渡り尽くせば兄弟あり、相逢うて一笑、恩讐は滅ぶ）魯迅と西村真琴との間に交わされた秘められた逸話を紹介します。魯迅から西村真琴に贈られた名詩を題材にして100数十点の貴重な写真展示と講演会を開催します。

●日時：2014年2月23日（日）9：00
～2月25日（火）16：00

●会場：豊中市中央公民館（阪急宝塚線曾根駅前）

●講演会とパネル討論会（2月23日 14:00～17:00）

○基調講演 王錫榮（上海魯迅記念館館長、中国魯迅研究会副会長）

○パネル討論会 司会 梶川伸
（マチゴト編集長毎日新聞社）

パネラー 松尾宏氏（西村真琴 孫）、周寧氏（魯迅のお孫様）、佐藤明久氏（内山完造 縁者）
寺本久子（西村真琴研鑽委員長）

主催：上海魯迅記念館、豊中市日中友好協会
NPO法人大阪府日中友好協会

皆様のご支援と是非のご参加をお願いします。

中国
ビジネス通訳
裏話

戸毛 敏美（著）

だから、
漢語は
おもしろい！

本部の機関紙「日本と中国」12月1日号で、インタビュー記事と共に詳しく紹介されましたように、当協会の副会長で元関西外国語大学教授の戸毛敏美さんの著書「中国ビジネス通訳裏話」が発行されました。インタビューの中で「40年近く日中貿易に携わり、その中で痛感した日中相互理解の難しさは計り知れません。『言うが易し、実現は難し』とでも言いましょか。だから私の体験談から少しでも『中国人の心』『日本人との違い』を汲み取ってもらえたら、と思って書きました。」と話されています。



東方書店

TEL 03-3294-1001
営業TEL 03-3937-0300
本体1600円＋税

面白くてためになる、さらには
元気が湧いてくる一読三鳥の
語学エッセイ

編集後記

*今年は大阪市、上海市友好都市提携40周年に当たります。大阪にとって大きな意義のあるこの年に開かれる日中友好交流会議。いま着々と準備を進めていますが、「民の力」を集めて現在の閉塞感をふきとばすような成功を。
*藤尾昭さんが亡くなりました。民間交流の生き字引であるとともに、最晩年までお気持ちは

「現役」でした。その意欲と行動力、中国への熱い思いを至らぬながらも受け継ぎたいと思います。
*「大阪と中国」は、会員の皆さんに開かれた媒体です。「会員消息」「MY OPINION」にどしどしご寄稿を。(志)

各協会の地図



訃報

藤井 勉氏 元評議員・元堺日中理事
9月25日逝去 享年87歳

廣瀬 省三氏 熊取町日中副会長
11月2日逝去 享年75歳

藤尾 昭氏 府日中名誉副会長・池田市日中名誉会長
11月7日逝去 享年87歳

2014年日中新春互礼会
ご案内

- 日 時：1月10日(金) 14:00~15:30
- と ころ：リーガロイヤルホテル
3階「ロイヤルホール」
大阪市北区中ノ島5-3-68
Tel 06-6448-1121
- 会 費：5,000円 (当日申し受けます)
- 主 催：一般社団法人日中経済貿易センター
Tel 06-4704-2511
NPO 大阪府日本中国友好協会
Tel 06-6770-0080

お気軽にお越し下さい

NPO 大阪府日本中国友好協会

〒543-0052
大阪市天王寺区大道5-4-6
大阪スカウト会館2F
TEL：06-6770-0080
FAX：06-6770-0707
Eメール：jcf@mail.infomart.or.jp



青年部メンバー募集!

中国好きの方、中国語を学習している方、在日中国人・留学生との交流などに興味のある方、青年部メンバーになりませんか。学生、在日中国人の方も大歓迎です！みんなで楽しく、日中友好交流活動に参加しましょう!!

- 対 象：若い方
- 会 費：年間 3,000円
(一般会員年間 12,000円のところ)